

表1

	[1] 投票所型				[2] ネットワーク型		
	現在の方式	電子投票システム研究会 の方式	NTT方式(A)	ブラジル方式	[2-2] 運用上の仮定を 必要とする方式	[2-3] 物理的な仮定を必要とする方式	
						NTT方式(B)	NTT方式(C)
有権者確認（認証機能），2重投票の防止	選挙管理委員会が受付で投票者を確認する	選挙管理委員会が受付で投票者を確認する	選挙管理委員会が受付で投票者を確認する	電子投票箱とは別のコンピュータが投票者を確認する	選挙管理委員会は投票者を認証する	投票者は投票内容に選挙管理委員会の署名を「ブラインド署名」で入手する	投票者は投票内容を拘束し，それに対する選挙管理委員会の署名を「ブラインド署名」で入手する
	投票者は選挙管理委員会から投票用紙を受け取る	投票者は選挙管理委員会から「電子投票券」を受け取る	投票者は選挙管理委員会から「電子投票券」を受け取る	確認されると電子投票箱が作動状態になる	選挙管理委員会は暗号化された投票に選挙管理委員会の署名をつけて，投票者の氏名を削除して集計者へ送信する		
			投票者はその受取として，選挙管理委員会に「署名」を発行する				
無記名投票（プライバシー保護）	投票者は隔離された場所で投票内容を書き込む	投票者はその投票券を用いて投票端末から投票する	投票者はその投票券を用いて投票端末から投票する	投票者は電子投票箱の画面を見ながらボタンを操作して投票する	投票者は，投票内容を集計者の「公開鍵」で暗号化し，選挙管理委員会へ送信する	投票者は，選挙管理委員会の署名付き投票内容を匿名通信路で，集計者に送信する	投票者は，選挙管理委員会の署名付き投票内容を匿名通信路で，集計者に送信する
	投票者は投票箱へ投票用紙を入れる		投票者は，集計用コンピュータから，投票に対する「署名」を受け取る				選挙管理委員会は署名付き投票内容を公開する
集計監視（不正防止）	集計者は立会人の隣席のもと，投票箱の中から投票用紙を取り出す	集計端末が投票端末と「オンライン」で結ばれているため，投票締切後ただちに結果が判明する	集計端末が投票端末と「オンライン」で結ばれているため，投票締切後ただちに結果が判明する	電子投票箱のフロッピーディスクに各有権者の投票を記録し，「暗号化」する．	集計者は，選挙管理委員会の署名を確認する	集計者，選挙管理委員会の署名を確認し，正当な投票内容のみを集計し，公表する	投票者は，投票内容の開示に用いる情報を匿名通信路で，集計者に送付する
	集計者は投票を集計する		集計者と投票内容のリストを公表し，選挙管理委員会が公表した投票者のリストを「投票者自身」がチェックする	フロッピーディスクを各地の集計センターに運び，復号して集計する	署名の確認された投票に関して，自分の秘密鍵で復号して集計する		集計者は，復号された投票内容のみを集計する
有権者確認，2重投票の防止	選挙管理委員会が受付で投票者を確認	選挙管理委員会が受付で投票者を確認	選挙管理委員会が受付で投票者を確認	電子投票箱とは別のコンピュータが投票者を確認	選挙管理委員会はネットワーク上の認証方式などによって有権者の確認をおこなっている	選挙管理委員会はネットワーク上の認証方式などによって有権者の確認をおこなっている	選挙管理委員会はネットワーク上の認証方式などによって有権者の確認をおこなっている
無記名投票	投票用紙や投票箱に細工がない	投票端末に細工がない	投票端末に細工がない	電子投票箱に細工がない	選挙管理委員会が投票者の氏名を削除して集計者に送信している	匿名通信路を用いて投票されている	匿名通信路を用いて投票されている
集計監視	立会人の監視のもとで開票，集計	集計用コンピュータに不正がない	投票内容を公開し，選挙管理委員会の署名を投票者自身が確認する	集計用コンピュータに不正がない	投票内容を公開し，選挙管理委員会の署名を確認する	投票内容を公開し，選挙管理委員会の署名を確認する	投票内容を公開し，選挙管理委員会の署名を確認する
セキュリティ技法	物理的な手段		デジタル署名方式	暗号方式	公開鍵暗号方式	匿名通信路／ブラインド署名方式	匿名通信路／コミットメント方式